

令和5年度第1回小牧市交通安全・防犯対策協議会会議記録

日時	令和5年7月18日(火) 午前10時20分～午前11時20分
場所	小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
出席者	<p>《委員》</p> <p>中村 明 外17名</p> <p>《事務局》</p> <p>市民生活部長、市民生活部次長、市民安全課長、市民安全課主幹、交通防犯係長、交通防犯係</p> <p>《小牧警察署》</p> <p>小牧警察署交通課長、生活安全課長</p>
傍聴者	0名
配布資料	次第、資料1～5ページ
<p><b>1. 議題</b></p> <p><b>(1) 会長及び副会長の選出</b></p> <p><b>(長縄課長)</b></p> <p>それではお手元の次第に基づきまして、議事を進行させていただきます。初めに、1の議題(1)会長及び副会長の選出についてでございます。お配りさせていただいております資料の小牧市交通安全防犯対策協議会規則の第二条第1項をご覧くださいと思います。会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によりこれを定めることになっております。立候補並びに推薦等ありますでしょうか。</p> <p><b>(林 泰治委員)</b></p> <p>委員の林でございます。僭越ながら推薦させていただきます。交通の方で会長さん、防犯の方で副会長にしたらどうかなという判断でございます。交通ですと交通安全協会小牧支部長の中村様、今までの活動プランをよく知ってみえるので会長に推薦したいと思います。防犯につきましても、小牧防犯協会連合会の野々川様。こちらも市で十分にご活躍されているということで、会長には中村様、副会長には野々川様を推薦したいと思います。</p> <p><b>(長縄課長)</b></p> <p>ありがとうございました。他、ございますか。</p> <p>それではただいまご推薦をいただきました会長には交通安全協会小牧</p>	

支部の中村明様、また副会長には小牧防犯協会の野々川和明様にお願いしたいと思いますが、いかがでございましょうか。

(異議なし)

(長縄課長)

ありがとうございました。それでは会長には中村明委員、副会長には野々川和明委員と、ご了承いただきましたので、恐れ入りますが、中村会長と野々川副会長につきましては前のお席の方へご移動をお願いいたします。それでは、ここで会長に就任されました中村委員からご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いをいたします。

(中村会長)

皆様、おはようございます。林さんからわざわざご推薦をいただきましたけれども、交通安全協会の方から出させていたただいておりますので、交通安全については多少分かると思っておりますけれども、防犯については、あまりよく分かりませんので副会長が野々川さんということで大変助かります。皆さんにいろいろなことにご注意いただきながら、会議がスムーズに進めばと思っておりますので、何卒よろしくお願いたします。

(長縄課長)

それでは、これ以降の議事の進行につきましては中村会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

## (2) 防犯啓発プレートの作成・配布について

(中村会長)

議題といたしまして、(2) 防犯啓発プレートの作成・配布についてということですので、事務局から説明をどうぞよろしくお願いたします。

(事務局)

- ・ 防犯プレート配布の目的を説明
- ・ 配布資料に基づき、プレート案の紹介

案1) こまき山とコノハ警部

案2) 戦国武将隊

案3) 特別警戒地域

案4) 地域安全運動実施

(資料 1～2 ページ)

※質疑は次のとおり。

(中村会長)

今、事務局の方から説明をいただきました。何かご質問があればお聞きします。

私から1つお聞きしたいのですが、今までのプレートの続きはしないということになるのですよね。現在使用しているものを廃止する理由を聞きたいです。同じものがずっとあったほうが浸透するかなと思いましたが、新しくした方が浸透するかなという考えもあってそこから案が出たものだと思いますので、その辺は何かあればご説明いただきたいと思います。

(長縄課長)

先ほど会長が言われた通り同じものばかりだとまた慣れてきてしまうかなと思うので、ちょっと変化を持たせたいといったところで、今回一気にデザインをちょっと変えてみたいという試行的な意味もあります。そういったところでちょっとデザインを変更させていただければというふうに考えておきまして、今のデザインが何か悪いとかそういうことでは全然ございませんので、そのまま引き続きということも案の一つとして、設けさせていただいても全然それは問題ないかなと思っております。以上です。

(中村会長)

すいません、ありがとうございます。はい、どうぞ。林さん。

(林 正郎委員)

この四つの案から一つを選ぶということによかったですか。作るのは1つですよね。

(山田主幹)

作るのは1つになります。デザインの基になるものを業者に案として出して、業者と詳細を詰めた後に1つを作成する流れとなります。

(林 正郎委員)

三つは同じ地域を守るというようなことで書いてあるけど、一つだけは特別警戒地域となっていて、全く違うというわけではないと思うけど、ちょっと趣旨が違うのではないかなと。特別警戒地域、特別という掲げ方をするのがいいのではないかと思います。

(山田主幹)

特別警戒地域との文言は、例えばこちらの協議会で特別警戒地域という文言を用いた方がその地域と一緒に地域を守るうえで効果的だという意見をいただけるようでしたら、この特別警戒地域というものを生かして業者と今後の打ち合わせで進めていきたいと思います。

(林 正郎委員)

はい、わかりました。ありがとうございます。

(中村会長)

はい、どうぞ。

(林 泰治委員)

最初、会長が言われた今までのものを使用する件ですが、そのまま使えばいいと思います。そのまま使う場合は、文言を変えたりするのがいいと思います。私が去年、提案させていただいたのですが、ナレッジを取り入れてほしいなど。

ナレッジというのはどういうものかと言いますと、例えばこの1案のデザインに守ってほしいことのみ記載するのではなくて、例えば「みんなが見てるから安心だよ」とかそういった文言を入れるものになります。これは大阪でやったのですが、町の真ん中で人が歩いていると、自転車がどんどん来てこれは危険だということで、縦看板を置いてもらって呼びかけしても10%も自転車から降りなかったそうです。

ところが、ナレッジという方法で「ここではみんな自転車から降りてもらえるから安心して歩けますよ」とうたったら、5割ぐらいが止まってくれるようになったそうです。

新しい方法で「みんなが見ているから安心ですよ」というような形でやると、二つの目的が出てきます。

一つは犯罪者が「みんなこの町は見ているのだな」と意識することで、侵入者を警戒させること、もう一つは市民がみんなが見ているから気を付けなくてはいけないなどと警戒することです。両方の面から訴えることができるのがナレッジの良さになります。やっぱりちょっと方向を変えて、これぐらい少しユーモアがあって、「みんなが見ているから安心だよ」といったようなものがないかだと思います。こういったかたちのものをやると、二つの目的が両立するのではないかなと。

特別警戒のように固い内容のものばかりをいくらか作っても変化はあるかもしれないけど、市民から見てそんなに関心あるわけじゃないのかなと思います。それよりもう少し柔らかくして、自分たちも考えそして犯罪者にも考えさせるという方法を一つやった方が私はいいかなと思います。以上でございます。

**(中村会長)**

はい、ありがとうございます。その他何かあれば。

**(山田主幹)**

事務局です。ご提案いただいた現在配布しているものの継続も含めて、案 1 から 4、どれを軸として進めていくかについて、最終的に検討していただきたいと思います。

**(中村会長)**

こちらからまた質問して申し訳ないのですが、今日、ここで決めるということですね。

**(長縄課長)**

今日、もうこれがいいというものがあればそれでいいと思いますが、皆様から意見いただきまして、今度の第 2 回の協議会ぐらいで一度私も案ということで、一つ作ってみたいなというふうには思っておるところですので、つきましては皆様のご意見がありましたらそれをいただきまして 1 度、我々の方で絞りたいと思います。

**(中村会長)**

課長から話がありましたように、意見をできるだけ多くいただきたいので、皆さんに自由に発言していただければありがたいです。なかなかこういうものについては、今日出席の方よりも例えば警察の方のほうがよくお分かりになるかと思います。交通課長がどういうふうにか考えるか、生活安全課長の丹羽さんだったらこういうふうにか何かあれば、教えていただきたいです。私たちが発言する上でのヒントがあるかなと思いますので、よろしくをお願いします。

**(稲垣交通課長)**

交通課長の稲垣です。やはりですね、視覚的にまず訴えるということではいろいろな文言が入っていない方が、頭に残りやすいのかなと考えます。文字が多いよりも、絵面多いほうがいいと思います。

またですね、絵も小さくごちゃごちゃと書いてあるより、大きくワンポイントぐらいでポンっと視覚に訴えるというようなものの方がいいのかなと考えます。また、若い世代にもうったえるためにかわいらしいデザインを使って、そして小さな子でも見ればわかるというような分かりやすいデザインを考えていただければ、なお一層いいのかなと考えます。以上です。

**(中村会長)**

はい、ありがとうございます。丹羽課長からもお願いします。

**(丹羽生活安全課長)**

生活安全課長の丹羽です。ぜひ、いろんな意見出していただければとは思っておりますが、警察の方でもプレートではないにしても、ポスター等々は作成・掲示しております。

今回市役所の方で、若干新しい内容でというお話もございましたので、通常のものよりは何かこの小牧の地域性を押し出したようなものの方が目新しいのかなと思いました。以上です。

**(中村会長)**

はい、ありがとうございます。警察の方からこういうお話がありましたので、それを聞いて何かご意見があれば、お話いただけるとありがたいです。

**(杉山委員)**

杉山と申します。よろしく申し上げます。

私としては、最初に会長にご提案いただいた昨年のもをそのまま使うのが一番いいのではないかと考えています。一つ確認させていただきたいのが、今回作成が300枚から400枚っていうことになっていて、前回作ったのはどれだけ残っているのでしょうか。在庫数に応じて次年度以降も作りますとしていたのか、それを先に教えていただきたいです。それによって、そんなにあるのだったら作らなくてもいいのではとか、そういうことも十分考えられるのではないかなと思いますので、ちょっと先にそれを教えていただけるとありがたいです。

**(林交通防犯係担当)**

今ご質問いただいた件ですけれども、前回のものは約4年から5年ほど前に作ったものになります。当時は約500枚を20万円程度で作成でき

ましたが、現在は物価の上昇により値上がりしていると聞いております。今も毎年、配っていますので、在庫数はあまりない状態で多分 20 枚も無いぐらいになっているかと思えます。以上です。

(中村会長)

はい、ありがとうございました。

(杉山委員)

すみません。ということは、今回作る 300 枚から 400 枚も想定としては何年間か使い続けるという前提のデザインという解釈でよろしいですか。1 年限りのデザインではないのですよね。

(林交通防犯係担当)

はい。継続して配布します。

(杉山委員)

そうであれば、次回以降追加って言葉がちょっと不適切かなと思ったので、合わせて聞きました。単年度での配布かと思っていましたが、在庫のあるうちは引き続き配布するとういことですね。

単年度で 300 枚から 400 枚をどれだけ、どういうふうに配布するのかわかっていうところがちょっと気になりましたのでお聞きしました。

(中村会長)

はい、どうもありがとうございます。何かあれば、どうぞ。

(長縄課長)

そうしましたらご意見をいただきましたので、こちらで一度絞らせていただきまして、今度第 2 回の協議会で最終的なデザイン案を示させていただきますというふうに思っております。お気づきの点がございましたら、随時おっしゃっていただければと思いますし、第 2 回の時にもご意見いただければ幸いです。

(中村会長)

今、課長の方からお話がありましたように、皆さんの方でこれでもいいなと何か気づいたらまた連絡していただければ、検討させていただくようになるかと思えますので、よろしく願います。

例えばこの提案の大きさに配布するというのも一つだし、例えば家の表札のところにさっとどこでも付けられるような大きさでもいいかなとか、いろんなことを検討していただければ幸いです。これで議

題について終わります。

## 2. 報告

### (1) 小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について

(稲垣交通課長)

小牧警察署交通課長の稲垣でございます。私の方からは、愛知県内と小牧市内の交通事故の情勢を簡単にお話させていただきたいと思います。

まず、愛知県内の交通事故情勢ですが、令和4年中137名の方が交通事故で亡くなりました。交通事故の死者数が最少であった令和3年と比べますと20名の増加となってしまいました。

先ほど市長と署長の原田からもお話がありましたけれども、令和4年中小牧市内では、小牧警察署を設置後初めて年間を通しての交通死亡事故ゼロを達成しておりましたが、先日発生した交通死亡事故の発生により死亡事故ゼロにつきましては、674日目にして、途絶えてしまいました。

その交通事故の概要につきましては、先ほどから何度もお話があった通りとなりますが、信号機の無い交差点で発生をしました。横断歩道を横断している80代の歩行者を同じく80代のドライバーが運転する軽四乗用自動車跳ねた交通事故であり、歩行者は残念ながら亡くなってしまいました。

お手元に配布しました令和5年6月末の小牧市内の交通事故発生状況を見ていただくと分かりますように、当署管内では、交差点内での人身交通事故というのが増加傾向にありましたので、横断歩行者等妨害等違反を含めた交差点に関連するような違反の交通指導取り締まりというのを強化していただけないか、今回の死亡事故という結果につきましては、非常に悔やまれるところであります。

なお、事故の発生した時間につきましては、午後7時半になります。やや暗くなり始めの時間ということで、周囲の状況というのは明るい時間帯に比べて掴みにくくなるものの、自らの進路の前方にあります路面標示などにつきましては車のヘッドライトに照らされていますので、この時間帯でも比較的しっかり確認できるのではないかなど。



もう1枚の資料は、今回の現場の写真になります。このチラシを見ていただくと分かると思いますが、まずダイヤ型のマークが見えて、その先に写真ではちょっと読みにくいですが「交差点注意」といったような文字が書かれているのがしっかりと確認できると思います。

最近では、免許更新の時の講習等でもこのダイヤマークを意識した運転を心がけてもらうための内容を入れておるのですが、このマークを意識した運転を心がけてみえますでしょうか。ダイヤマークというのは全国統一の路面表示ということになりまして、前方に横断歩道や自転車横断帯があるということを示すものになります。ドライバー全員が、横断歩道があるのだから、横断者がいるかもしれないということをしっかりと意識していただき、かもしれない運転を行っていただければ、今回のような事故というのは防ぐことができたのかもしれないかもしれません。これらダイヤマークの周知に関しましては、今後も自治体等と連携して周知をしっかりと図ってまいりたいと考えております。

なお、当署管内では、交通死亡事故の発生以降の7月12日にも、あわや死亡事故といったようなオートバイと乗用車の交通事故が発生をしております。

また、近隣警察署に目を向けますと、お隣の犬山警察署管内でも6月に自動車単独の死亡事故というのが発生しました。900日を超えて続いていた交通死亡事故ゼロが途切れましたが、7月に入ってから死亡事故が連続発生するなど、当署を含めた尾張ブロック全体で急激に交通事故情勢が悪化をしているような状況です。

まもなく夏休みを迎えまして、社会全体がさらに活発に動き出すということが予想され、重大事故の発生が非常に懸念されているところであり、警察としましては、何としてでも悪い流れを食い止め、皆様が事故なく夏休みを過ごしていただけるように、交通指導取り締まりなどの街頭活動や、自治体と連携した広報啓発活動等の強化を図っているところではありますが、皆様方におかれましても、各団体におかれましても、交通安全意識の高揚を図っていただければ幸いです。

今年度におきまして、本協議会において様々な防犯交通安全対策の取り組みについて協議いただけるということで、ぜひとも活発な議論をい

ただきまして、有効な安全対策を警察とともに推進していただきたいと思います。私からのお話は以上となります。

### (丹羽生活安全課長)

生活安全課の丹羽です。お手元に、資料を1枚お配りさせていただきました。防犯定期便ですがこちらの裏面に小牧市の学区別の犯罪発生状況が載っております。

こちら見ていただければと思いますが、この犯罪発生は学区の振り分けとなっておりますので、小牧署全体の認知件数は若干のずれがあるということだけご認識よろしくお願いいたします。

まず冒頭で市長と署長の方からもお話がございましたが、刑法犯認知件数は今まで減少傾向を続ける中、現在は増加の傾向となっております。本年6月末の暫定値でいきますと、小牧市全体で言えば刑法犯認知件数は488件、約19.9%の増加となっております。その中で多くを占めているのが自転車盗でございます。自転車盗は、6月末で暫定値97件、21.3%増加でございます。先ほど署長の方からお話ありましたが、無施錠の状態の被害が大変多いということで、警察としてもこちらの対策を何とかしなければと思っております。

この自転車盗は刑法犯全体の約2割を占めており、次に多いのが万引きとなりますが、万引きは約60件しかありません。それだけこの自転車盗が多いため、対策が必要だと考えております。現在小牧署では、まずは無施錠で自転車が盗まれることがないように、施錠習慣の定着化を目標に、各種対策を実施しております。

人間の心理を活用した仕掛学を活用した自転車盗対策や、自転車駐輪場にQRコードを掲示して、被害の多い高校生を中心にした呼びかけの対策もやっております。

また、自転車盗だけでなく、特殊詐欺の被害もここに来て大変急増しております。

本年1月から6月末で7件の認知でございましたが、7月に入ってから連続発生しておりまして、現在13件の認知となっております。

これまでもずっと小牧市と連携して対策を実施してきたところでございますが、さらに今までとは違った側面から、被害防止のためのアプロ

一斉をしていかなければならないと考えております。

さらに今後ですが、夏休みやお盆など自宅を長期不在することも多くなるかと思っておりますので、侵入盗の警戒も必要となると考えておりますので、早め早めの対策を準備しているところでございます。以上、犯罪情勢の報告です。

## **(2) 令和4年度の交通防犯の取組事項について**

### **(事務局)**

- ・交通安全対策事業及び防犯対策事業について報告  
(資料3～4ページ)

## **(3) 今年度の取組事項について**

### **(事務局)**

- ・交通安全・防犯対策ポスター・標語の巡回バスへのラッピング等
- ・自転車乗車用ヘルメット購入費補助金
- ・まちを安全安心にキャンペーンin小牧の実施
- ・自動車用交通防犯啓発マグネット等の配布
- ・通学路等における防犯カメラの追加設置  
(資料4～5ページ)

※委員からの質問、意見なし

## **3. その他**

### **(事務局)**

- ・次回開催案内

閉会